

ももせやすらぎの里平成 24 年度第 3 回運営推進会議報告書

テーマ ～災害時における地域関係者との合同避難誘導訓練の実施～

開催日時 平成 24 年 10 月 29 日（月）10:00～

開催場所 塩竈市字伊保石 30-1

グループホームももせやすらぎの里

1、訓練参加者

- ・塩竈市健康福祉部長寿社会課長寿支援係課長補佐兼係長 八巻一雄 様
- ・塩竈市北部地区地域包括支援センター所長 吉田正和 様
- ・塩竈市千賀の台町内会長 高橋盛治 様
- ・塩竈市吉津第二町内会長 小野富雄 様
- ・千賀の台町内会の皆様 8 名
- ・入居者様 9 名
- ・入居者ご家族様 4 名
- ・やすらぎの里職員
管理者 鈴木弥生、統括ケアマネジャー 木村洋子、看護師 小山雅美
職員 佐藤淑子、清水英子、高橋寿子、佐々木剣一郎、佐藤愛、佐藤佳澄
土井里香、安部麻美、佐々木純子

2、避難誘導訓練内容

- ・早朝、隣接施設から出火したことを想定し地域住民の協力のもと避難誘導訓練を実施する。

3、訓練参加者からの意見、感想

- ・混乱を招かないよう、中心となり指示を出す人が必要。（八巻係長）
- ・ひとりひとりへの対応が違うため、誘導の大変さを改めて感じた。（吉田所長）
- ・非常事態の際は説明している余裕もなくなるので、強引さも必要になってくる。
（千賀の台町内会）
- ・役割分担の目印をつけての訓練も必要。地域の集会所はいつも開けているので活用してほしい。何回訓練をしても状況は変わるので臨機応変に対応しなければならない。
（高橋千賀の台町内会長）
- ・避難場所の設定、集会所での一時預かり等の協力はできる。（小野吉津第二町内会長）
- ・寒い時期は上着など保温物品の準備をしておく必要がある。（入居者家族）
- ・忘れた頃に災害はやってくる。車椅子や名札、持ち出し物品の準備をしておく。
（入居者家族）

- ・随時の点呼確認が必要になってくる。(千賀の台町内会)
- ・訓練時こそ避難者の見守りも配置しなければならない。(千賀の台町内会)

4、訓練を終えて・・・

今回、夜間想定訓練を行い迅速な避難誘導と人手が必要であると改めて感じました。町内会長をはじめ地域の皆様との日頃から交流していることが、いざという時に活かされると思います。

皆様からのご指摘やご意見をもとにマニュアル等の見直しを行い、定期的な訓練で災害に備えていきたいと思ひます。

訓練後、備蓄食品を準備し試食していただきました。

ご協力ありがとうございました。

*次回は12月5日(水)の開催を予定しております。

報告者 グループホームももせやすらぎの里
統括ケアマネージャー 木村 洋子